

## 2. 海岸の保全に関する基本的な事項

### 2. 1 加越沿岸の海岸の現況

#### 2. 1. 1 防護面から見た海岸の現況

##### (1) 海岸線の現状

福井県の加越沿岸は、石川県の能登半島から連続する長大な砂浜が、越前海岸に代表される海食崖と奇岩から成る岩礁海岸へと変化していく区間に位置している。石川県境から三国町の浜地までは砂浜海岸であるが、それ以西は越前松島や東尋坊が含まれる岩礁海岸となり、九頭竜川河口のサンセットビーチから浜住海岸までは再び砂浜海岸となる。砂浜の一部が埋立てられ、テクノポート福井として利用されている。さらに鷹巣港より加越沿岸の南端である越前岬までは、岩礁海岸が続いている。

##### (2) 侵食（海岸線の変化）の現状

###### ①海浜の生成過程

波松～浜地の砂浜は主に大聖寺川からの流出土砂と、背後の海食崖の侵食土砂によって形成されたものと考えられる。また、三里浜の砂丘は、九頭竜川からの流出土砂を供給源としているものとされている。

###### ②砂浜海岸における海岸線の変化

当沿岸における砂浜海岸は、いずれも侵食傾向にあると考えられ、特に芦原町の海岸では、侵食が顕著である。ただし、離岸堤等が設置されている浜地海岸や浜住海岸および越廼村の蒲生海岸では、海岸保全施設の効果により堆積傾向にある。

###### ③海岸保全施設の整備状況

海岸侵食が顕著な海岸では、突堤や離岸堤等の海岸保全施設によって砂浜の維持・回復が図られている。

### (3) 高潮・高波浪への対応

#### ①沿岸の風、波、流れ

加越沿岸では福井港において、気象、海象の観測が実施されている。

〔 風 〕 年間を通じて SE 方向が卓越しており、頻度は 20.6% を占めている。また、風速 10m/s 以上の強風は、W 方向が卓越している。

〔 波 〕 波向は、夏季の比較的穏やかな期間は W~NNW が卓越し、冬季の高波浪時には NW の頻度が最も高い。

〔 流れ 〕 加越沿岸の潮流は弱く複雑であり、不明な部分が多い。沿岸部においては、一般的に北東の流れ（対馬海流）がみられるが、寒流のリマン海流が勢力を増す冬場は沖合部では流れの方向は一定せず、沿岸部の流れも複雑となる。

#### ②背後地の状況

九頭竜川河口から北側の台地は集落が密集しており、河口周辺は、三国漁港を中心とした港町として発展している。河口から南側の、福井平野の低地には、テクノポート福井を中心とする臨海工業地帯が整備されている。鷹巣港より南では、背後に山地が迫っており、概して海岸部の地盤は高くなっているが、点在する低地に位置する漁港背後では集落が密集しており、幹線道路や水田・水仙畑等の、生活基盤もほとんど海岸沿いに集中している。

#### ③高潮・高波浪による被害

加越沿岸は、日本海に面しており、冬季の北西の季節風による風浪や台風時の風浪・高潮によって護岸や離岸堤等の施設被害や越波による通行規制が発生している。

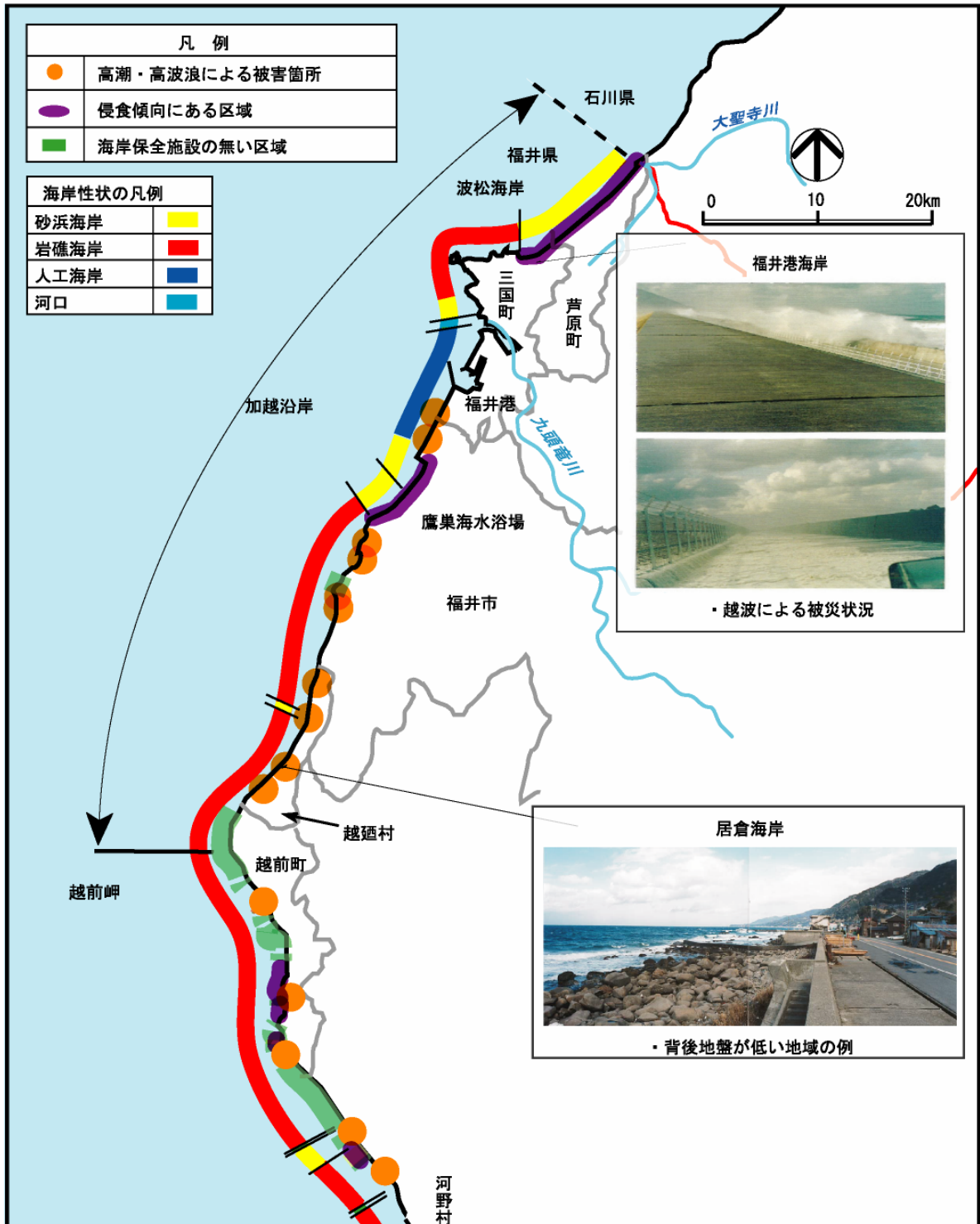
#### ④海岸保全施設の整備状況

高波による被害が生じた海岸では、離岸堤、堤防・護岸および消波工などが設置されており、越波被害の軽減が図られている。また最近では人工リーフによる越波対策を実施している海岸も増加している。



護岸・消波工・離岸堤に防護された集落と漁港  
(大丹生漁港)

# 防護面から見た現況



## 2. 1. 2 環境面から見た海岸の現況

### (1) 生物の生育・生息環境

#### ①植物

福井県の加越沿岸は、福井港を除く全域が越前加賀海岸国定公園に指定されており、沿岸部の生育環境として重要な地域としては、雄島（原生林に近い状態の照葉樹林）、東尋坊（海岸断崖地の植物群落）、三里浜（砂丘・砂浜特有の群落帯）、越前海岸（海岸段丘のスイセン）などがある。

#### ②動物

貴重な種として、鳥類ではクロツラヘラサギ、コクガン、アカツクシガモなど、昆虫類では指標昆虫類2種、特定昆虫類8種、その他希少種とされるキアシハナダカバチモドキ、ニッポンハナダカバチ等が確認されている。東尋坊には鳥獣保護区（400 ha）の指定がある。

#### ③藻場

「第4回自然環境保全基礎調査」（1989年～1992年）によれば、加越沿岸では東尋坊周辺の浜地から九頭竜川河口にかけての一带、浜住海岸南端から越前岬にかけての岩礁海岸の大半に藻場が存在している。種類としては、アオノリ等の緑藻類、緑藻類よりも深い海底に着底するワカメ・ヒジキ（加越沿岸は分布の日本海北限）などの褐藻類、アマノリなどの紅藻類である。

### (2) 多様な海岸地形、優れた海岸景観

#### ①多様な海岸地形

沿岸の貴重な自然景観資源として、多数の甲殻類の化石が岩に貼りついていて古生物学的に重要な鮎川海岸や小丹生海岸、貝殻化石を多く含む火山灰層の露頭が見られる浜地海岸、茶崎海岸、和布（鷹巣）等には海水準付近にあった地盤が隆起し、波食によって崖となり、塔状になっている海成段丘など地形形成史を物語る典型的な地形がある。

#### ②優れた海岸景観

三里浜を起点とした北側の海岸では、海岸線の延長が長い砂浜景観がみられる。岩礁海岸では、東尋坊の断崖、越前岬、および雄島、亀島、鉾島、夫婦岩等の海上に浮かぶ小さな島々や、弁慶の洗濯岩などの変化に富んだ岩礁景観が特徴的である。

### (3) 自然環境に対する人為的な影響

#### ①沿岸海域の水質

加越沿岸はA類型またはB類型に指定されており、最近のCODの経年変化をみると 1.0~2.0 mg/l 付近で推移しており、環境基準を達成し良好な水質環境を維持している。

#### ②ごみの散乱

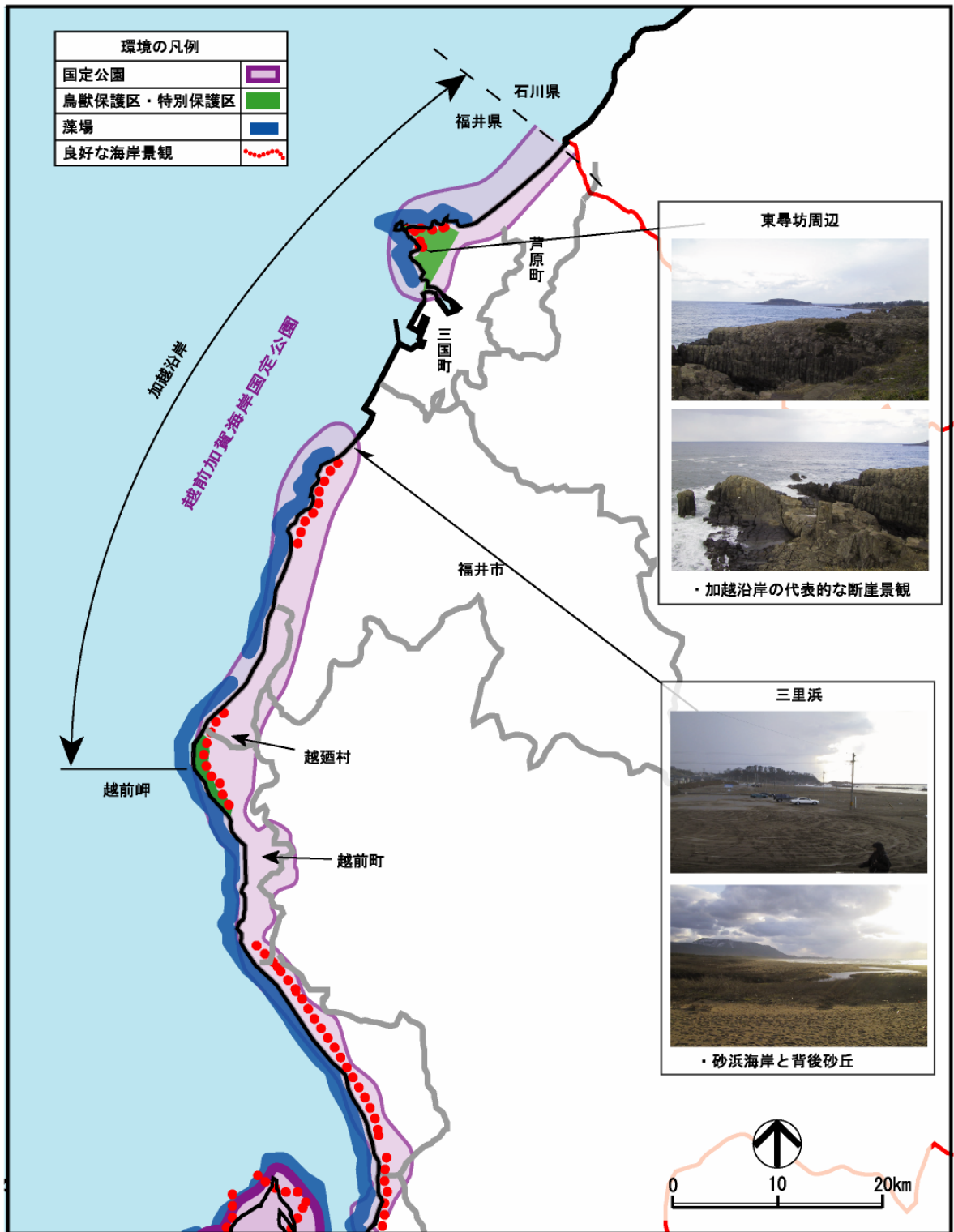
砂浜海岸の多くで、外国からの漂着物、利用者が残していくごみ、河川から流出してくるごみ、故意のごみ投棄等によるごみの散乱が目立つ。ごみの回収は地域の人々によって定期的に行われているが、集められたごみの処分が課題となっている。

#### ③砂浜への車の進入

三里浜砂丘には貴重な砂丘特有の植生と昆虫が存在しているが、砂丘へのオートバイ・車の進入が見られ、砂浜や砂丘の植生および海岸生物の生息環境への悪影響が心配されている。



環境面から見た現況



## 2. 1. 3 利用面から見た海岸の現況

### (1) 海岸整備と背後の土地利用

#### ①周遊観光が進む海岸線

福井港を除く全海岸が国定公園に指定されており、越前松島から東尋坊、越前海岸の奇岩などは全国的に著名な景勝地であり、重要な観光資源となっている。海岸沿いには国道 305 号が走り、海の景観を楽しめる周遊観光のドライブウェイとしてとして絶好の道路となっている。国道沿いには、近隣の漁港で水揚げされる越前ガニをはじめとする海産物と窓からの海岸景観が自慢であるドライブインや民宿が点在する。

越廼村や越前町の海岸段丘には水仙畑が一面に広がっており、水仙祭りや水仙をテーマにした施設等の観光も図られている。

#### ②海水浴利用

浜地海岸、三国サンセットビーチ、浜住海岸や鮎川海岸等の、大きな規模の海水浴場には、駐車場や利便施設が整備されている。鮎川海岸や蒲生海岸にも離岸堤と緩傾斜護岸を設置し、海水浴場としての整備が進められている。毎年夏場にはそれぞれ 5 万人以上の利用者があり、浜住海岸は、10 万人以上の利用者がある。

これら浜地、三国、浜住、鮎川海岸では浜茶屋が建てられ、海水浴客のための利便施設は整っている。その背後の標高が低い地区には民宿・旅館などが多く立ち並び、観光による地域振興が図られている。

#### ③産業基盤としての利用

九頭竜川河口部左岸の海岸は、埋立てにより福井港、火力発電所、石油備蓄基地を中心とする臨海工業地帯として、わが国の重要な産業・流通基盤としての機能を担っている。

#### ④漁業

加越沿岸の岩礁海岸の殆どは藻場が存在しており、浅海・沿岸漁業の好漁場となっている。また岩礁海岸が形作る天然の入江は、古くから漁港として利用されている。特に三国町の岩礁海岸および、福井市の鷹巣漁港から加越沿岸最南端の越前岬まで続いている岩礁海岸には漁港が点在し、その背後には漁村として発達した集落が位置している。

## (2) 海浜周辺へのアクセス

### ① 車両による海岸へのアクセス

海沿いに幹線道路の国道 305 号および県道が走るため、全般的に海岸周辺へのアクセスは良好であるが、芦原町の海岸では幹線道路からのアクセス道路が少なく、狭隘である。福井港海岸は産業に特化した海岸として位置付けられており、安全面への配慮から関係者以外の利用はされていない。

### ② 水際線・前浜への歩行によるアクセス

海水浴場として利用されている砂浜海岸では、階段護岸などの水際線へのアクセスに配慮した整備もみられる。岩礁海岸は、地形的に全般的に水際に近づくのは困難な形状であるが、一部の岩礁海岸では水際に下りるための階段工などが設置されているところもあり、三国町、福井市、越廼村には磯づたいに遊歩道が整備されている区間がある。

## (3) 海岸利用および整備の現状

### ① 多様な海岸利用

港湾や漁港、観光地としての利用のほかに、海水浴、釣り、磯遊び、サーフィン等の利用がされている。またキャンプ場や海浜公園などが整備されている。

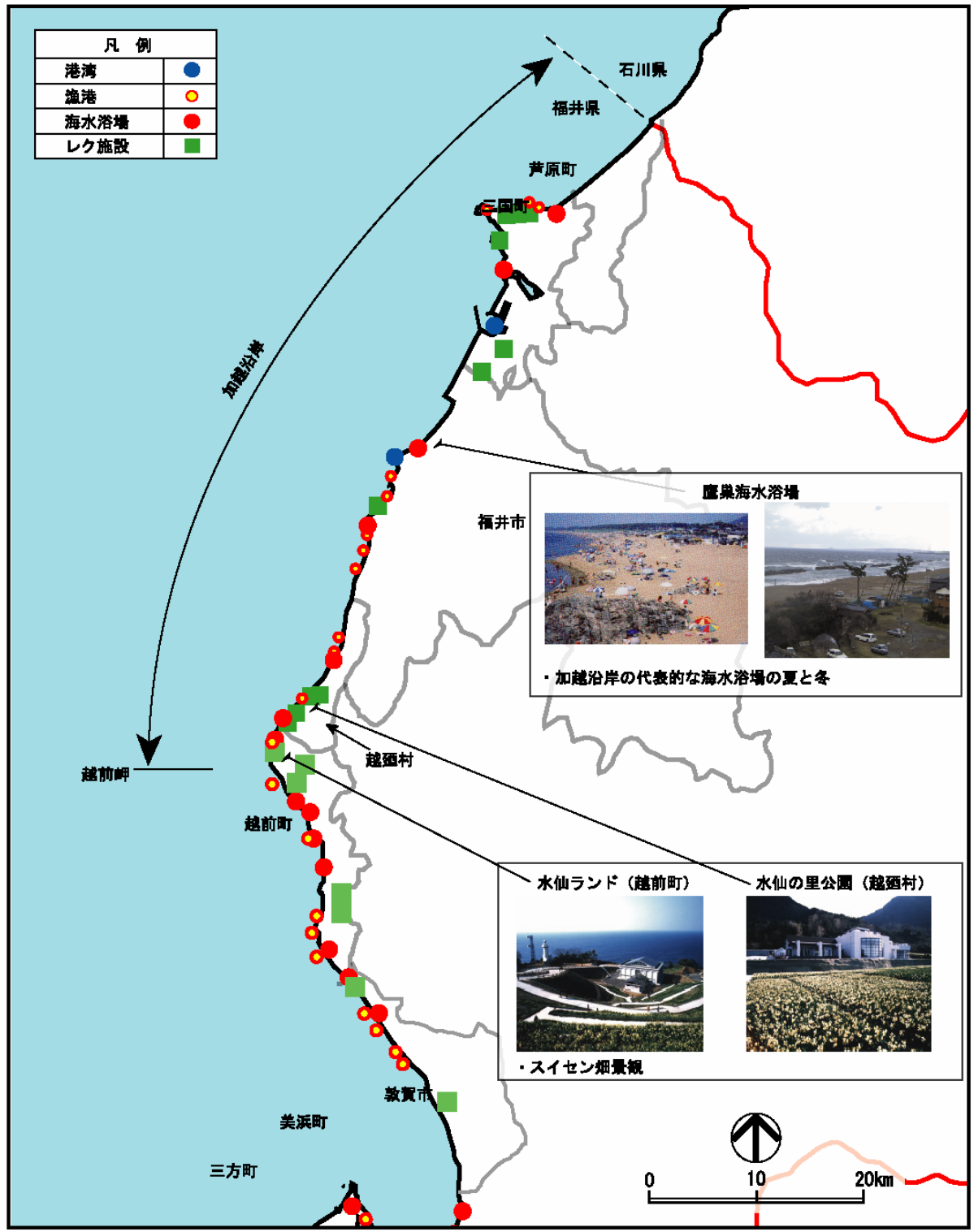
### ② 海岸における利便施設

サンセットビーチ、浜住、蒲生の各海水浴場では、公共の駐車場、シャワーがあり、浜茶屋が利用できる。この他の海水浴場としては、浜地はトイレと駐車場、鮎川の海水浴場には、現在駐車場がある。いずれも背後には民宿が多い。海岸付近で見晴らし台などがある岩礁海岸においても、加越沿岸では休憩園地や駐車場、トイレが整備されている箇所が多い。





利用面から見た現況



## 2. 1. 4 ゾーン区分と各ゾーンの問題点・課題

加越沿岸は、北部の砂浜海岸、東尋坊を中心とする岩礁海岸、福井港の埋立地と南に連なる砂浜海岸、鷹巣港から越前岬へと続く岩礁海岸からなっており、それぞれの海岸には自然環境や背後の土地利用等に応じた対策が必要である。

ゾーン区分に当たっては、前述の地形条件に主眼を置き、さらに自然公園指定区域の分布、背後の土地利用等の以下に示す項目を基に検討した。

### ゾーン区分における検討項目

☆自然条件：海岸地形、自然公園区域、流入河川の位置

☆社会経済条件：背後の土地利用、港湾・埋立地、漁港等の位置

ゾーン名	沿岸域の特性						特徴
	市町村	地名等	海岸地形	港湾・漁港	土地利用	自然公園	
大聖寺川							
芦原・三国海浜ゾーン (森と浜辺のサンセットゾーン)	芦原町 (6,955m)	浜坂	砂浜		保安林	越前加賀海岸 国定公園	一連の長い砂浜であり、背後は大規模な保安林となっている。侵食性の海岸で、波松海岸では昔海水浴場としてにぎわっていたが、砂浜の侵食により、海水浴ができなくなっている。
		波松					
越前松島・東尋坊ゾーン (断崖と緑の景勝ゾーン)	三国町 (21,469m)	北潟 浜地 梶 崎	岩礁	梶漁港 崎漁港 安島漁港	林地	越前加賀海岸 国定公園	岩礁性の海岸で、海岸背後には崖が迫っている所が多い。越前加賀海岸国定公園の中でも越前松島、雄島、東尋坊等景勝地が多く、観光スポットとしてにぎわいをみせている。
		雄島・安島					
テレポート・三里浜ゾーン (港と海浜の公園ゾーン)	福井市 (21,379m)	米ヶ脇・宿	砂浜		海水浴場	指定なし	一連の長い砂浜区間であったが、福井港を中心とした臨海工業地帯の建設に伴う大規模な埋立てにより、砂浜はほぼ3分の1の長さになった。沿岸で最も海水浴客の多い、鷹巣海水浴場（浜住地区）やサンセットビーチがある。
		火力発電所	埋立地	臨海 福井 工業 港地・ 帯	港湾・ 工業地帯		
越前海岸ゾーン (岬と水仙の丘陵ゾーン)	福井市 (21,379m)	石油備蓄 基地	砂浜		海水浴場	越前加賀海岸 国定公園	岩礁海岸が続く、背後地は国道305号が海岸沿いを走り、その背後には、急傾斜地が迫っている。
		浜住 鷹巣 亀島 長橋 菅生 鮎川 白浜 大丹生 小丹生	岩礁	鷹巣漁港 鷹巣港 長橋漁港 菅生漁港 鮎川漁港 白浜漁港 大丹生漁港	国道305号 および 漁港中心の 集落が点在		
		大味 菜崎 蒲生 居倉 左右 越前岬					
越前村 (23,610m)							
越前町 (790m)							

## 加越沿岸のゾーン区分図



■ ゾーンごとの海岸の防護に関する課題

ゾーン		芦原・三国海浜ゾーン	越前松島・東尋坊ゾーン	テクノポート・三里浜ゾーン	越前海岸ゾーン
ゾーンの地形的特徴		石川県境である大聖寺川河口から三国町浜地に至る延長約8kmの直線的な砂浜海岸である。背後は砂地盤の台地となっており、平地はほとんどない。	岩礁海岸であり、越前松島、雄島、東尋坊などの柱状摂理の露頭が特徴的な海岸が連続する。海岸付近の海底勾配は比較的緩く、遠浅の岩礁海岸となっている。	九頭竜川からの流出土砂で形成された延長約12kmの直線的な砂浜であった。左岸側の三里浜海岸の背後には、三里浜の海岸砂丘が発達している。	福井市鷹巣港から越前岬に至る直線的な岩礁海岸である。背後には山地が迫り、漁港を中心とする集落が低地に点在する。
現況および問題点	海岸線およびその変化	南西端の浜地では、海岸保全施設により砂浜が維持されている。一方、石川県境から浜地海岸の北側では、侵食により著しい砂浜幅の減少がみられる区間が多い。	-	ゾーンの3分の2は、埋立てによって造成された臨海工業地帯の人工海岸であり、砂浜は、サンセットビーチ、浜住海岸にある。これらの砂浜は侵食傾向にあると考えられ、浜住海岸等では、海岸保全施設によって砂浜が維持されている。	-
	流入河川および海岸の漂砂機構	主として大聖寺川からの流出土砂および背後の砂質台地の侵食土砂が供給源と考えられており、これらの供給土砂の減少に伴う侵食が生じているものと考えられる。南向きの沿岸漂砂が卓越していることが、波松に設置された突堤の堆積状況から推定される。	-	サンセットビーチと浜住海岸、九頭竜川導流堤左岸の砂浜はともに北側の浜幅が薄くなる傾向にあること、南側の砂の粒径が小さいことから、南向きの沿岸漂砂または飛砂による砂の移動が卓越していると考えられている。	-
	海岸保全施設による現状の保全状況	管理用道路と道路護岸は、ほとんどの区間に設置されており、その前面には消波工が設置されている。波松の砂浜には突堤が3基設置されており、突堤周辺は局所的に砂浜幅が漸増している。また、浜地海岸では突堤と離岸堤によって汀線の維持が図られている。	-	サンセットビーチは九頭竜川河口右岸側の導流堤によって、浜住海岸は離岸堤によって汀線が維持されている。一方、三国町のゆあぼ〜と背後および浜住では、飛砂による堆砂が特に激しい。浜住では、飛砂および飛沫による車・家屋の被害が顕著であるため、防潮・飛砂防風林の植栽による災害の抑止が図られている。	-
	高波浪等	冬季の北西季節風による風浪や台風時の風浪、高波による越波によって護岸等への施設被害が発生している。	集落等は、高台もしくは堤防・護岸や離岸堤によって防護された地域にある。海底地形は比較的緩勾配であり、高波浪が来襲しても越波による災害が発生しにくい特性がある。	福井港海岸は、冬季風浪の越波による被害が発生しており、管理用道路の陥没も生じている。	越前町付近では、海底地形が急勾配となっており、日本海に直接面している海岸では、冬季風浪による越波が発生しやすくなっている。このため、越前町〜越廼村の国道305号は、通行規制になることが多い。集落前面に設置された海岸保全施設の機能低下がみられる。
	海岸保全施設による現状の防護状況	護岸工や消波が整備されており、突堤工が建設中である。	対策が必要な箇所については、離岸堤、防波堤、堤防・護岸などの整備が終了している。	福井港海岸では直立護岸前面に消波工が設置されている。またその沖側に離岸堤が設置されている。	漁港集落は、防波堤・離岸堤・消波工で防護されている。国道305号の海沿いの区間（菅生、鮎川、塩ヶ浜など）では、道路護岸の前面に消波工が設置されている。越波が生じやすい呼鳥門付近では、バイパス工事を行っている。
地域毎懇談会における住民意見		○砂浜の侵食が非常に問題である。 ○以前は海水浴場であったが、深掘れのため遊泳禁止になってしまった。 ○高波が来ると浜が狭くなる。 ○波松には北東の風で砂が取られ、西風で戻る。 ○護岸をつくったら浜幅が減少した。 ○早急に一連の突堤を建設して欲しい。 ○離岸堤の開口部の沖にも離岸堤を設置するとよいと思う。 ○浜地（三国町）で護岸工事を行うと北潟（芦原町）のほうに必ず影響がでると言われている。	特になし	○飛砂による被害が発生しており、サンセットビーチ背後では1m程度の堆積が生じている。 ○浜住でも冬場の飛砂による被害が著しい。 ○緩衝帯を設けて飛沫・風を抑えてほしい。 ○福井港海岸では冬季の越波により、管理用道路が毎年陥没している。	○飛沫がひどいので、防潮帯を作って欲しい。 ○冬の高波に対し、テトラポットの設計が低すぎるのではないかと（大丹生・福井市）。 ○白浜漁港では去年も船が流されているので、防波堤をあと30m位延ばして欲しい。 ○鮎川町の人工リーフは確かに効果がある。 ○未だに越波によって道路が通行止めになる箇所が多い（越前町）。 ○高波によって離岸堤が崩れてきている（福井市）。 ○江津浦の越波被害が大きい。
ゾーンにおける防護面の課題		侵食の防止が緊急の課題である。抜本的な侵食対策を立案するためには、砂浜の形成課程の検討と体系的なモニタリングによって侵食の原因・メカニズムを解明するとともに、実施に向けて費用対効果分析を行うことも必要である。また、侵食が著しい海岸では、汀線の維持を図る応急的な対策を検討する必要がある。	特になし	テクノポート福井前面の福井港海岸の越波対策を行い、背後の国家石油備蓄基地をはじめとするテクノポート福井立地企業を防護する必要がある。離岸堤等の保全施設によって浜住海岸では、堆積傾向にある。今後とも砂浜の維持に努める必要がある。飛砂・飛沫による被害が発生していることから、これらの対策が必要である。	冬季の高波浪に対する、越波対策、飛沫対策を行う必要がある。海岸保全施設の機能低下に対応する必要がある。

■ ゾーンごとの海岸環境の保全に関する課題

ゾーン		芦原・三国海浜ゾーン	越前松島・東尋坊ゾーン	テクノポート・三里浜ゾーン	越前海岸ゾーン	
現況および問題点	生物の生息・生育環境	貴重な動物の生息	〔鳥類〕 トモエガモ、ミサゴ等 〔昆虫類〕 砂浜を生息域とするニッポンハナダカバチ、アカオビカヲトリ等	〔鳥類〕 ミゾゴイ、クロツラヘラサギ、コクガン（雄島を中心） 〔昆虫類〕 オシマヒメテントウ、オガサワラチャイロカミキリ等	〔鳥類〕 クロサギ、イワツバメの集団営巣地、福井港海岸背後の湛水区域は渡り鳥の休憩地となっている。 〔昆虫類〕 砂浜を生息域とするヤマトバツタ、キアシハナダカバチモドキ等	〔鳥類〕 クマタカ、ウミスズメ等 〔昆虫〕 砂浜を生息域とするフタイロカミキリモドキ等
		貴重な植物群落の分布	特になし	〔福井県すぐれた自然〕 雄島の照葉樹林、東尋坊付近の海岸植生（重要な自然） 〔特定植物群落〕 雄島の照葉樹林、東尋坊付近の海岸植生	〔福井県すぐれた自然〕 三里浜の砂丘植生（重要な植生） 〔特定植物群落〕 三里浜の砂丘植生	〔福井県すぐれた自然〕 御嶽山のスタジイ林、越前海岸のスイセン（重要な植物群落）
		海浜植生の分布	海浜植生が部分的に分布	崖海岸の上部には照葉樹林が分布。	三里浜の砂浜海岸には部分的に海浜植生が分布。自然の砂丘植生は徐々に消失しつつある。	部分的にある砂浜海岸では、海浜植生が見られる。
		藻場の分布	砂浜海岸であるため藻場は存在しない。	ほぼ全域に藻場が分布し、緑藻類、褐藻類、紅藻類等の海藻が見られる。	藻場は存在しない。	ほぼ全域に藻場が分布し、緑藻類、褐藻類、紅藻類等の海藻が見られる。
		法規制区域の指定	・越前加賀海岸国定公園（全域） ・保安林（海岸背後の森林）	・越前加賀海岸国定公園（全域） ・特別保護地区（雄島・東尋坊一帯） ・保安林、鳥獣保護区（海岸背後の森林） ・国指定の史跡・名勝・天然記念物（丸岡藩砲台跡、東尋坊）	・越前加賀海岸国定公園（福井港海岸を除く全域） ・保安林（海岸背後の森林）	・越前加賀海岸国定公園（全域） ・保安林（海岸背後の森林、部分的）
	人に自然環境が影響する環境	ごみの発生状況	・漂着ごみを含め、ごみの散乱が見られる。	・漂着ごみを含め、ごみの散乱が見られる。	・漂着ごみを含め、ごみの散乱が見られる。	・漂着ごみを含め、ごみの散乱が見られる。 ・流入河川による局所的な水質汚濁が生じている。
		海岸愛護活動の状況	・海岸清掃が定期的に行われている。	・海岸清掃が定期的に行われている。	・海岸清掃が定期的に行われている。	・海岸清掃が定期的に行われている。
	海岸地形・海岸景観	優れた景観の指定分布	〔福井県すぐれた自然〕 弁天岬、浜地海岸（地形・地質） 〔福井県のすぐれた景観〕 波松海岸	〔ふるさと福井の自然100選〕 越前松島、雄島、東尋坊 〔福井県のすぐれた景観〕 東尋坊・雄島・越前松島 〔環境庁・自然景観資源〕 越前松島、雄島、東尋坊 〔国指定の史跡・名勝・天然記念物〕 丸岡藩砲台跡、東尋坊	〔福井県すぐれた自然〕 浜住海岸（地形・地質）、福井新港とその周辺（鳥獣） 〔福井県のすぐれた景観〕 三里浜 〔環境庁・自然景観資源〕 浜住海岸 〔ふるさと福井の自然100選〕 浜住海岸	〔福井県すぐれた自然〕 白浜～鮎川海岸、小丹生海岸、茱崎海岸等（地形・地質） 〔福井県のすぐれた景観〕 鷹巣海岸・亀島・鉾島、小丹生海岸、弁慶の洗濯岩、越前海岸・越前岬・呼鳥門 〔環境庁・自然景観資源〕 弁慶の洗濯板、足見滝等 〔ふるさと福井の自然100選〕 亀島、鉾島、小丹生海岸・弁慶の洗濯板、越前夫婦岩一帯、水仙群生地等
		海岸景観の状況	細かい砂と直線的な海岸線形状が特徴的な、優れた景観を有する砂浜海岸である。背後にマツを主体とする保安林が続き、治山施設が海岸線に築設されている。	優れた景観の岩礁海岸が連続している区間であり、海岸線沿いに遊歩道も整備されており、観光資源にもなっている	砂浜海岸はでは春から夏にかけて一面に草花が咲く海岸砂丘の景観が貴重なものになっている。	小さな島や奇岩が特徴的な岩礁海岸は、優れた景観を呈しており、観光資源としても海岸景観の価値は非常に高い。しかし、海岸保全施設の消波ブロックが景観を阻害している箇所も少なくない。
	地域毎懇談会における住民意見		○ごみのマナーについて積極的な広報活動を行う必要がある。 ○学校の総合学習の時間に海岸ごみについて学んでいる。	○東尋坊や米ヶ脇では最近ごみがひどい。県の管轄部署を明確にして欲しい。 ○漂着ごみの処理に対し県に協力してもらいたい。 ○ごみ処理の官民の協力体制を計画に盛り込むべきである。 ○モラルの向上について県の協力を期待する。 ○最近、海岸の底質が泥質化している。	○三国サンセットビーチに外国文字と「硫化水素」と書かれたポリ容器が大量に流れついた。劇物なのでボランティアだけでは対処できない。行政と民間がタイアップして処理できないか。地域としても協力する用意がある。 ○三里浜の貴重な植物を残したい。	○集めた海岸ごみの処分が問題となっている。 ○汚水の流入が浅海養殖に悪影響を及ぼしている（越廼村・越前町）。 ○岩礁が砂に覆われたため、海藻が少なくなった。 ○放流が盛んに行われているが、在来種が育たない現状は疑問に思う。 ○学校で「ふるさとの海岸を残してほしい」との要望が聞かれる。岸近くにコンクリートを積み上げることは極力避けることを検討してもらいたい。離岸堤だけでなんとかならないか。
ゾーンにおける環境面の課題		〔生活環境〕 海岸ごみの発生の抑制、回収・処分体制の確立など 〔景観〕 優れた砂浜景観の保全と維持	〔生物環境〕 背後地の生物生息環境の保全 〔生活環境〕 漂着ごみへの対応、漁港など入江の水質確保 〔景観〕 岩礁海岸の優れた景観の保全	〔生物環境〕 開発計画のない区間における三里浜砂丘の植生とその生息条件の保全、福井港背後の野鳥休憩地の保全 〔生活環境〕 うるおいのある住環境の創出、沿岸の水質の保全、海岸ごみ発生の抑制および回収・処分体制の確立など 〔景観〕 優れた海岸砂丘景観や砂浜景観の保全	〔生物環境〕 浅海生物環境の維持保全、消失した海岸植生の復活等による豊かな生物生息環境の保全 〔生活環境〕 うるおいのある住環境の創出、沿岸の水質の保全、海岸ごみの発生の抑制および、回収・処分体制の確立など 〔景観〕 越前海岸等の優れた岩礁海岸景観の保全	

■ ゾーンごとの適正な利用に関する課題

ゾーン名		芦原・三国海浜ゾーン	越前松島・東尋坊ゾーン	テクノポート・三里浜ゾーン	越前海岸ゾーン	
現況および問題点	海岸整備と背後の土地利用	土地利用状況と施設の配置	浜地海岸を除き、背後に平地がほとんどなく、台地の上部はゴルフ場、集落、テーマパーク、農地などに利用されている。 海に面した砂質の台地斜面は保安林に植栽され、斜面の崩壊を食い止める努力がなされている。海岸沿いには保安林管理用道路がある。 浜地海岸は海水浴場になっており、背後にはドライブイン等が散在する。	越前松島、東尋坊一帯、雄島一帯は、海浜自然公園・海浜遊歩道が整備されている。幹線道路は、半島のとを横断しており、分岐した車道によって半島内の崖と木立の中の道路を周遊できる。ロードサイドには宿泊施設やレストラン等が散在する。ただし南西側は崖のため海岸へ下りることは大部分で難しくなっている。半島の北側は緩やかな斜面であり、海岸遊歩道によって水際線に容易に近づくことができる。東尋坊・越前松島、雄島等を擁し、周遊観光の拠点地区ともなっている。 〔施設〕海岸遊歩道（下の欄参照）、海浜自然公園、国民休暇村、越前松島水族館（三国町）	九頭竜川河口部右岸側は、海運基地として栄えた歴史を持ち、現在でも人口密度は非常に高い。前面には三国サンセットビーチがひろがり、海水浴客でにぎわう。左岸側は、福井港・石油備蓄基地として利用されている。この海岸付近には一般人は立ち入りができなくなっている。浜住海岸は、加越沿岸では最も入込み客数の多い海水浴場となっている。 〔施設〕三国温泉ゆあぼ〜と、みくに文化未来館、みくに龍翔館、テクノポート福井総合公園、臨海中央公園（三国町）	集落は、そのほとんどが山と海の間の狭い平野部に存在する。このあたりは、越前海岸と呼ばれる海岸が一連の景勝地になっている地域であり、海岸付近には公共・民間の観光施設も多い。 国道が生活環境である海と集落の間を貫いており、従前の生活空間を分断している。 〔施設〕鷹巣遊歩道、国民宿舎鷹巣荘（福井市）江津浦海浜公園、ハツ俣自然歩道、水仙ミュージアム（水仙資料館（越廼村）、越前岬水仙ランド（越前町）
		関連計画の有無	○海岸防災林造成事業（県）により海岸に突堤を設置して森林を造成、侵食防止、潮害等を防ぐため整備中。 ○国民参加の森林づくり（林野庁）背後の国有林を「ふれあいの森」としボランティア等へのフィールド提供を行い、国民参加の森づくりを推進。	○自然学習歩道整備事業：県の事業で情報発信と自然学習施設として既存の海浜遊歩道を整備予定（荒磯遊歩道、雄島自然研究路、二の浜遊歩道、越前松島自然探勝路、三国町海浜自然公園内遊歩道、の延長計7.3km)	○福井港港湾計画 ○テクノポート福井基本計画 ○福井港振興ビジョン	○「福井市都市計画マスタープラン：風光明媚な越前海岸を水や緑に親しむレクリエーション拠点・主要な観光地として整備、アクセス条件の向上を図る ○「豊かな海辺づくり計画」（鮎川海岸） ○「水仙の里」としての地域振興：「第1回水仙サミット」平成5年、「1996世界水仙会議・越廼」平成8年開催
	海浜へのアクセス	立地条件	波松海岸へは国道305号から波松集落経由で海岸に出られるが、狭隘でわかりにくい。浜地海岸には、主要地方道三国東尋坊芦原線が容易にアクセスできる。	主要地方道三国東尋坊芦原線が、ゾーンの海岸周囲を走り、容易にアクセスできる。	サンセットビーチへは主要地方道三国・東尋坊・芦原線が容易にアクセスできる。浜住海岸へは国道305号からバイパス道路で容易にアクセスできる。	各海岸へは直背後を通る国道305号によって容易にアクセスできる。
		海岸へのアクセス	浜地海水浴場を除き、侵入路がほとんどないこと、および海岸沿いの保安林管理用道路は、管理者以外通行禁止となっている。	南西側は崖海岸であり、海へのアクセスはできない。一方北側は、標高が低く、歩道も整備されており、海へのアクセスは一般的に容易。	浜住海岸、サンセットビーチへのアクセスは特に問題はない。北側の福井港海岸の背後は、安全面から一般の利用は制限されている。	国道で海沿いを快適に移動できるが、駐車場がある場所以外に車を止めることは危険であるため、自由にアクセスできる海辺は限られている。
		駐車場の設置	浜地海岸を除き、駐車場等はない。	周遊観光地として有名なゾーンであり、駐車場は比較的整備されている。	サンセットビーチ、浜住海岸に駐車場が整備されている。	海岸沿いの主な観光スポットに整備されている。
	海岸における快適性・利便性	多様な海浜・海域の利用	海水浴（浜地海岸の海水浴客数：約6.2万人[平成13年度]）、釣り、サーフィンなどが行われている。	周遊観光の他には、釣りの利用がある。海岸利用者がごみ等を残していくことに対して住民の間で不満がある。	海水浴（サンセットビーチの海水浴客数：6.7万人、浜住海岸は11.7万人[平成13年度]）、釣り、マリンスポーツの利用がある。九頭竜川河口にはマリナーがある。	海水浴（鮎川海岸の利用者数：約3.5万人、越廼村の海岸利用者数約8.3万人[平成13年度]）、釣り、マリンスポーツの利用がある。 漁村は、家屋が密集していて地域住民のための公共利用の場が少ない。
		観光資源	波松海岸には砂浜の他に観光資源はない。浜地海岸にはドライブイン、レストラン、宿泊施設等がある。	周遊道路である主要地方道三国・東尋坊・芦原線沿線にはドライブイン、レストラン、宿泊施設等が散在する。	サンセットビーチおよび浜住海岸背後には食堂、宿泊施設等が多い。	ゾーン内のほぼ全線にわたり海岸沿いを走る国道305号線は周遊観光道路になっており、沿線にはドライブイン、レストラン、宿泊施設等が散在する。
		利便施設その他の設置状況	汀線方向の移動路はなく、浜地海岸を除き、トイレなどはない。	海浜遊歩道、展望台、オブジェ、海浜自然公園、歌碑、駐車場、トイレ等が整備されており、ミニビジターセンターも整備される予定であり、周遊目的の利用者にとって利便施設に不足はない。	海水浴場には、トイレ等が設置されている。夏場には海の家が設置されるため、海水浴客の利便施設は用意されている。	海水浴場や観光スポット付近にはトイレ等利便施設が整備されている。
		海岸利用の基盤	波松海岸は砂浜の勾配が急なため、海水浴はできない。浜地海岸は海水浴場として整備されている。	岩礁の景勝地が、周遊観光ルートとして定着しており、施設も充実している。海岸沿いの遊歩道からの海岸景観が観光の基盤となっている。	サンセットビーチおよび浜住海岸の砂浜が海水浴場として利用可能であり、浜住海水浴場に隣接する岩礁海岸の景観が観光の基盤となっている。	亀島、鉾島、弁慶の洗濯岩、呼鳥門、越前岬などが連続した岩礁景観および鮎川海岸、蒲生海岸の砂浜における海水浴場が観光の基盤となっている。
	地域毎懇談会における住民意見	○離岸堤ができると浜地で行われている観光地引き網ができなくなる。 ○海岸観光資源としての活用を期待する。 ○海は急に深くなるので現在は遊泳禁止。 ○浜へのアクセスが悪く、駐車場もない。管理用道路を利用したい。	○なぎさで子供が遊ばなくなった。現在はごみ拾いくらいしか、子供と海の接点がない。	○三里浜の離岸堤は景観的に非常に問題があると認識しており、なんとか人工リーフに変更してもらいたい。	○こどもの遊べるなぎさを残したい。親水と防護を両方活かせる工法の実施を望む。 ○漁港に木を植えるなど、漁港を公園化したような海岸施設の整備を希望する。漁港は漁師だけのものではない。 ○トイレがないので釣り客がふん便を残していく。地区内の道路に構わず駐車するので、地区は非常に迷惑している。トイレの設置、駐車制限の実施を望む（鷹巣）。漁港内への釣人の不法駐車により、業務へ支障がある。 ○護岸ができてから返す波によって海が深くなり、ウニ・サザエの生息場所が少なくなってしまった。県に対処の智慧をもらいたい。最近是在来種が育たずに、放流ものしか育たない。県は関係各課と連携して良い海岸整備の答えを提示して欲しい。	
ゾーンにおける利用面の課題	・芦原町の今後の振興策との連携し、今後想定される多様な海岸利用の調整を図ることが必要。 ・ごみの放置対応策として利用マナーの向上に向けた啓発活動の推進が必要。	・観光地の海岸として、利用マナーの向上や、景観の悪化防止を図る啓発活動の推進が必要。	・健全で快適な海岸利用の推進に向け、利用マナーの向上を図る啓発活動の推進が必要。 ・福井市に近い海水浴場として価値は高いことから、利便性および環境・景観が貴重であることから質の高い整備を推進することが必要。	・海と密接な関係にある人々の生活空間・憩いの場所としての海岸空間の保全・創造に配慮しながら施設整備を行うことが必要。 ・多様な利用の自主的な調整、および利用マナーの向上を図るための啓発活動を推進する必要がある。 ・快適な海辺の形成に向け、トイレなどの利便施設の充実を図ることが必要。		

2. 1. 5 沿岸の問題点・課題のまとめ

防護の課題

- 侵食対策が必要な区域
- 越波対策が必要な区域

環境の課題

- 生物生息環境の保全が必要な区域  
(福井県または国指定の重要な動植物が確認できる区域)
- 自然景観の保全が必要な区域  
(環境庁自然景観指定または「ふるさと福井の自然100」に指定)

利用の課題

- 海岸へのアクセスが難しい区域
- 保全と利用の共生が特に必要な区域

海岸性状の凡例	
砂浜海岸	
岩礁海岸	
人工海岸	
河口	

